

平成29年度 総社市総合計画審議会協議事項要旨

日時 平成29年10月3日(火) 10:00~12:00

会場 総社市役所 本庁舎2階会議室

<各委員からの意見>

【市民満足度調査結果について】

- ・回答率が昨年度より低い。有意性はあると思うが、できれば半分以上が回答してくれると、もっと状況が良くわかるのではないか。
- ・(若年層の総社への愛着度や住みたいという数値が低いという結果について、)若年層の場合は、夢を実現するためには外に出たいという子もいる。ターゲットは子どもを育てる世代や、生産している勤労世代を中心にしていけば上がっていくのではないか。
- ・転入者に対しアンケートを取って、その原因となる部分をもっと強化していけば、人口増に対して効果的ではないか。
- ・満足度というのはあくまでも参考指数。これに右往左往するのではなくて、参考にしていくということが大事。全体のバランスを考えて、実行を少しずつ進めていって欲しい。

【観光面について】

- ・観光面で、駅前に観光客に向けてのカフェのようなものが無い。いろんな種類の食事ができるような建物があるといい。
- ・総社の町は、古い町並みもなく寂れている。
- ・総社駅の沿線は近代化遺産がぽつぽつある。これに注目して「れとろ一ど」等の取り組みをされてきたと思うが、外から見ていると総社の町中というのは一つの特色あるゾーンというのが見えにくい。
- ・観光アピールの方法について、今の時代はインスタグラムで非常に興味深いものを発信していくとか、興味を持つ若い人達もいると思うので、色々とメディア戦略という部分でも考えていただきたい。

【福祉王国プログラムについて】

- ・今の福祉の政策を評価して、課題をもっと見つけて、その課題を乗り越えていくような支援をしていただきたい。
- ・引きこもり支援から発達障がい児支援まで5つのカテゴリーがあるが、これ以外に新たな福祉プログラムは、考えているか。
- ・障がい者雇用について、枠を広げて取り組んでいるのはよいが、定着度と内容と言う点

では、まだまだ色々課題があるので、その辺にも着目して欲しい。

- ・差別解消法で、「合理的配慮」がいろんなところから出てきているが、企業だけではなく、町の中でもそういう取り組みをすることで、障がい者だけではなく、子供から高齢者の方までやさしいまちづくりになると思う。

【防犯・防災について】

- ・消防団員の数が年々少なくなっている。生命、財産を守っていくという重要な任務を背負っているので、募集について皆様のご協力をよろしくお願いしたい。
- ・自由枠交付金の件で、重要なのは防犯防災。有事の時のこの予算を増やしていただきたい。
- ・岡山県は特に災害が少なく、意識が非常に低いのではないかと。総社市も災害が多くなく、具体的なことをしっかりしていかなないと、ただ組織率を向上するだけではだめなのではないか。

【教育について】

- ・総社に対して、愛着を感じている子どもが半数に満たないということが非常にショックであった。授業の中で、子どもに総社の良さを伝えていかなないといけないと感じた。総社市への愛着イコール各学校への愛着というのもあると思う。それぞれの子どもが自分の学校が好きだという気持ちにさせるような働きかけ、指導をしていかなないといけないと強く感じた。
- ・高等学校と義務教育との連携が非常に大切になっていると思う。現在、総社市は、中学校区制で高校は倉敷学区になっており、かなりの中学生が進路を選ぶ時に、岡山・倉敷に出る生徒が増えている。これも大切な要素だと思うので。小中学校だけでなく高等学校も学校の魅力を伝えられるよう協力してやっていかなないとかなければならないと感じた。
- ・「きらり」（特別支援教育推進センター）に対しては、支援が拡充していて、職員も補充していただいているが、幼稚園や規模の小さな小学校の教員の確保も考えていただきたい。
- ・学校の建物自体の耐震化について、まだ追いついていないところが多いので、子ども達のためにも早急にしていただきたいと思う。
- ・市民会館でのイベント時に行った40歳以下の方、約1,000人への独自アンケートでも、子どもたち、特に中学生以下くらいで、夢や希望をなかなか持てない、選ぶことができない町という意見が多かった。今の日本の現状で、貧困の子どもたちが6名に1人くらいと聞いている。我々のイベントでも無料のものはものすごく流行るが、有料のも

のは非常に売りにくいという現状がある。

行政だけの問題だけではないが、子どもたちが夢を描けるようなイベント、施設、様々あると思うが、こういった子供たちへの人材育成、その親に対する人材教育についても非常に重要な課題ではないかと思う。

【移住・定住について】

- ・よそからの移住者を増やすということにも力を入れて欲しい。
- ・若者の雇用に関する部分で、満足度が低い。Uターンしてもらおうということのを重要視するべきではないか。Uターンの理由などにも着目して、実家に戻ってきたくなくなるというか、町がある種の「実家的なイメージ」というか、「帰ってきたい故郷」というか、そういう在り方みたいなものが総社の町にはふさわしいのではないか。

【外国人について】

- ・多くの外国人が企業で働いているが、高齢化に向かって、介護の面で外国の方に頼る時代が目の前に来ているのではないか。そのためには、今いる外国人に対する予算を増やして欲しい。特に日本語教育の予算については削減しないようにして欲しい。

【農業について】

- ・県が進めるハイブリッドメガ団地（総社市は桃）について行政の支援をしっかりとお願いしたい。

【スポーツ施設等について】

- ・スポーツ関係で、非常に建物が老朽化している所がある。また、駐車場の確保にも困っている。できれば解消していただきたい。

【企業誘致について】

- ・これまでは比較的土地があったから、企業誘致も順調に進んできたと思うが、これからは、適地があるのかどうかというのがネックとなる。引き続き、ご尽力、ご協力いただきたい。
- ・企業誘致について、大手の企業が来ていただけるのは有難いが、地場の企業の雇用が逆に奪われるという場面もあるので、やはり地元企業それから創業に対しての政策を見える形で出していただければと思う。

【井原鉄道について】

- ・井原鉄道のイベントに，総社市民は関心がない。駅前があまり活性化されていない。他の政策にしても，市民が盛り上げて，ぜひやって欲しいという流れを作っていないと難しいと思う。

<重要業績評価指数（K P I）再考>

第2次総社市総合計画 実施状況（P 5）

項目 「自主防災組織率の向上」

項 目	当初値	H28 確定値	H29 現況値	H32 目標値
自主防災組織率の向上	50.1% (H27.4.1)	69.7%	96.8% (H29.9.1)	70%

平成32年度の目標値 70% → 100%に上方修正
計算方法の変更（世帯加入率⇒地域カバー率）による上昇

⇒ 承認

<今後の予定>

今回，委員の皆様から頂いた御意見等を踏まえて，総合計画を見直し，今年度末を目途に審議会委員へ報告する。